

Hさん

昨晩泊まった山王谷キャンプ場の片隅で、朝っぱらからキャッチボールをする元気な人たち。

「たんぽり村まつり」、11時に開村式が始まりました。村長の挨拶とか、スタッフのみなさんの紹介などあり。薪割りの音で開村！

肝木（かんぼく）という木がありまして、なぜか、佐治では「たんぽこ」と呼ばれているそうです。その木の葉を煮出したエキスを煮詰めて、たんぽこ膏薬をつくります。完成したのかなあ？

捻挫の熱取りなどに効くそうです。

葉っぱをひたすらちぎって、鍋に入れて、適度に煮出したら葉っぱを取り出し、また新しい葉っぱを入れていく。水も減ってきたら追加して、ひたすら煮る。最後、その汁を煮詰めてドロリとしたら完成のはず。

じんたは、村のおじさんたちの指導の元、他の子どもたちと葉っぱをちぎったり、鍋をかき混ぜたり、火に薪をくべたり、張り切ってやっていました。

他の子どもたちが飽きて居なくなっても、ひとりひたすら火の番をしながらたんぽこをちぎっていました。

村のおじさんたちが、じんたのことを絶賛して「弟子にしてやろうか？」と、何人にも言われていました。

栃餅を食べました。栃の実を餅米に混ぜて搗きます。栃の実の下拵えは相当大変なはずです。

既に用意されていて、良い塩梅で混ぜられて、くるみ餅みたいな香ばしい、美味しいお餅でした！

昔は貴重な米の増量材だったそうです。

おとうさんのライブ中も火の番をしていた、じんた。「煙が龍みたいでおもしろい」

と、ほんとにほぼイベント中ずっと焚き火の前で火の番をしていました。

しまは、ボランティアの大学生たちが出していたブースで、しんぶん工作に夢中でした。

出店はみんなガスも電気も使わず、炭や薪を駆使してやっていました。何台も見た天火オープン！

これは野原カフェぽすとさんのプレート。連日食べましたが、美味しかった…！！

あれ？ いない？ と思うと、違う場所でやっぱり火の番をしている、じんたでした。

こんなのも置いてあった。足踏み式糸鋸！ 難しい…！！

集落見学ツアーにも参加しました。耕作放棄地の棚田を見たり。

空き家の中で、佐治谷ばなしを聴いたり。たのしかったな～じんたは鶏も可愛がってました！

五右衛門風呂もあったのですが、わたしたちは三朝温泉に行き、戻ったら焚き火を囲んでのおたのしみが。

大学生たちのファイヤーダンス！盛り上がった！！

そして、夜は更けていき、焚き火を囲んでの語らいは続いたのでした～

10/5日

テントではないけど、寝袋で寝ました。久々だったなあ。

昨日はまだ霧雨だけだった時々の雨が、降り続くようになってしまい、出店は屋内避難棟に移動。

屋外もテント増量で、しかしお客さんも昨日より増えていたみたいです。雨なのに凄いねえ。

焚き火し続けていたじんたが疲労で具合悪くなり、午前中は一緒に少し昼寝した。

正也のライブ途中で起きたら、もうじんたはすっかり元気になっていて、今日は nelco はやらないつもりだったのにアンコールで勝手にステージに上がったので、結局またみんなでうたいました。

コール&レスポンスで「1たんぽり！2たんぽり！3たんぽり！たんたんぽり！！」って言ってて、『たんたんぽり』って何だよ？！と、爆笑しながら見ていましたが、あとで聞いたら無限大的な意味だったそうです（笑）

入村すると、500たんぽりの地域通貨（＝500円）が貰えて、村で使えるのですが、ライブの投げ銭もたんぽりいっぱい入ってて、わたしたちは一時的にたんぽり長者になっていました。

宵越しの金は持たねー感じで、ぱーっと飲み食いして使ってしまった（笑） ありがとうございます。

…なんか、わたしが撮った写真ではさっぱり伝わらないので、オフィシャル記録写真から拝借してきました。

うん。昨日より、盛り上がったんです！！！！

泊りがけのお客さんとスタッフのみなさんと、一緒に薪ストーブで夜ごはんつくったのですが、完成して焚き火の周りに移動しても雨は降り止まず強くなる一方で、仕方なくタープを立ててその下に入ったのですが。それでも、焚き火の火で熱燗したりしていて、おもしろかったです。

出店に来ていた出張日本酒 BAR の酒うららさんが、おすすめの日本酒を熱燗にしてくれました。

学 生ボランティアのペーターが、羽釜に入れた水をひっくり返して(わたしの薪の並べ方が悪かったんですが…笑)、焚き火にザバッと水がこぼれ、どしゃー！！っと水蒸気が上がり、酔いもあってみんなで大爆笑でした。無事かと思われた炭火網焼きにしていた肉は灰だらけになり、洗ってまた焼いて美味 しくいただきました(笑)

酒うららさんは、米を守る為に酒を飲んでいるそう。

1升×100で1石(こく)という単位になるそうで、年間2石は余裕、3石目標に飲んでいるとか…！ 凄すぎる。

「そうだと、いつも何時ぐらいから飲むんですか？」という質問に対して、「すきあらば飲んです」と言っていました。酔うと寝ちゃうそうです。たしかに、まだ昼頃、出店の店番の位置で、酔って寝ていた姿を拝見しました。素敵です。





〇くん（出店者）

10/4・5・6日の3日間たんぽり村まつりでおむすび屋を出店しました。

お店を出すイベントで宿泊・朝食、夕食をみんなで作る体験は大きな家族になったようで不思議な3日間でした。出店者の中でおもしろいのがありました。

それは「子ども屋台村という子どもが自然の素材を使って“なにか”を作り、その“なにか”を販売するお店です。ある子どもは小石に絵を書きそれを販売していました。

話すうちに子どもと仲良くなり私のお店にもたくさん置かれるようになりました。

ある時、女の子はストーンアートが売れ、なんと！稼いだお金でおむすびを買ってくれたのです！！

うれしすぎて泣きそうになりました。

その子のために心を込めておむすびをむすびました。笑いあり、涙ありのいろんなドラマが生まれるイベントでした。最後になります。手伝って頂いた方々「ありがとうございました。」

※どのおむすびも心を込めて作っています。



Iさん

今日、芦津へ森林セラピーガイドに入る予定が、台風のために中止。

ならばと、佐治町で行われているたんぽり村まつりへ。

到着したら、こうたくんが腰を痛めていると聞いて、ちょこっと腰の手当てをさせていただきました。

ちゃんと、ここに来る訳がありましたね。

ちょうど今日のもりさやちゃんのライブ□。やっぱりさやかちゃん、いいなあ〜。ますます、いいなあ〜♪

ぼすとのおちゃんのランチは、いつもどおり美味しくて、しろつめ農園さんのパンは、噛むほどに優しい味がして(*^~*)

母も、ゴルゴちゃんのお野菜かったり、りょうこさんところでお買い物。

帰り道、母からは、

「最近、おもしろいところばかり、連れていってくれるなあ」って＼(^o^)/

母も、いっぱい楽しんでほしいから＼(^o^)/



Sさん

今日はたんぼり村祭でした。佐治の奥の不思議なお祭り。

まずは、羽釜で炊いたおにぎりやさんおにぎりをむすでるのは、かわいいお兄ちゃん

美月は、鮭を三つも食べた(>_<) ご飯がうまい！とな。

電気は太陽光発電で自給自足なので、所々、薪がたかれてこれらも、大切な熱源時を旅するドリンクのすだち、レモン、ゆずのスカッシュが気に入り、これも二杯飲んだ。我が家の美月とみずきちゃんは、ハイチーズ！

さらには、パイボン畑さんのモンブラン。大騒ぎして、最後のひとつをGETしてにっこりスマイルな美月

私は地域とコミュニティーのトークライブを聞きたいのに！

今、まさに私たちがとりくむべき問題や現状が聞きたいのに！

やはり、美月にひきづられゴエモンブロに入り

滝の散策にも連れていかれました。

滝は凄かった！！なんか、みどりのシャワー山の神様！って感じでした。もー、でも、足が笑ってます。

他にも、沢山の素敵なお店や素敵な人達が、一同に会しておりもつとずっと、色んな人にあいお話ししたかった。

人見知りだから、話しかけるの時間かかるんだよね。。。私(^-^;

書ききれないくらいもっと、沢山ありましたが素晴らしいイベントでした。

明日も一日あるそうです。いけるひとはぜひ！

未来が、描けるかも知れませんよ。主催者、コータくんお疲れ様！そして、ありがとうー(^-^)/



Nさん

鳥取市の佐治町は、私の故郷と同じ因州和紙の里です。

佐治石とかいう高級な石や天文台や昔話がとても良いところです。

今日は、ここのキャンプ場の「たんぼり村まつり」へGO!!

ここれを主催した方は「いかに稼がずに暮らすか」を生き方にしておられます。なかなか分かっておられる人達に巡り会えそう。期待出来るかも。私の家族は、1泊しちやいます。五右衛門風呂付き。最高！！

お祭りでは、音楽家さんの演奏や、オーガニック料理木地師さんの食器、紙芝居、昔話など盛りだくさん。

夜はファイヤーなダンスなどあり。

深夜まで、塩を精製する鍋の下の焚き火を囲みながら語らうのでした。なんと有意義なことでしょう。



Nさん

たんぽり村まつり、夜勤明けでパンを焼き、2時間以上遅刻しながら出店しました。

綾ちゃんのおにぎりと味噌汁も好評でした。ロケットストーブの火は、すべてK谷さんご一家のお陰でした。

現地でもナンみたいなパンが焼けました。本当にありがとうございました♪

そして、一日参加してわかりましたが、やはりいい加減な時間の搬入出は出来ませんし、内容も半端になってしまうので、明日は出店を控えさせていただくことにしました。すみません。

そのぶん明後日はしっかり頑張りたいと思います。本当にいいロケーションで、この場所と人々がこのまま村になればいいなあと思いました。絵空事ではなく、実際動いている人たちです。

生活の基盤づくりを人任せにしない、人たち。と空気。そして平井正也さんの演奏はシビレました。

考えてみたらエレキギターの弾き語りはほとんど聴いたことがなかった。心はディスコでした。

たんぽり村まつりが無事終了。

最後に輪になってお話会があり、とてもよかった。こういう会話をする場こそ、カフェが担うべきと思った。

実際おいしい物もあったしまさにカフェでした。さて特に感動的だったのは、幸田婦人のスピーチ。

僕とほぼ地元が同じで、なまりも同じなのも余計効き、もらい泣き必至でした。(目をそらして泣かんようにした)

あーすごい場に立ち会ったな、と思います。

余韻の中、帰り道の思いつき書き。移住者と呼ばれるのはもう飽きた。異常者、変人で結構。

ただし変な人ではなく、変えていく人であること。教えられるのではなく 学ぶべきこと

夢の叶え方。カワイイは すでに大きな エネルギー。子どもの存在はエネルギー循環を正常にする。



Oさん

たんぽり村まつり、行ってきました。

いつも、イベントに出店に、行くと忙しかったり、暇だったり、まあ、いろんな時がありますが、忙しい時はゆっくりと話もできず、片付いたら、はいさようならと、いつも不満に感じるものがあつたのですが、今回のお祭りは、地元の方の協力や、出店が終わってから、みんなでご飯を作ったり、五右衛門風呂を準備したりと、いつものお祭りない、小学校の時の林間学校のような体験ができ、子供達も天気あまりよくなかったにもかかわらず、大変楽しそう三日間のうち、2日しか参加できませんでしたが、有意義な時間が過ごせました。

参加費に地域通貨を用意してあったり、これからのイベントの形がうかがえる素晴らしい企画でした。主催者の幸田さん、ありがとうございました。また、面白い企画を楽しみにしています。

Fさん

佐治町で今日から6日まで開村される『たんぽり村』に行ってきました♪

幸田さんの開村宣言で、村人たちは、これから3日間、化石エネルギーを使わない、土に還らないゴミは出さない暮らしを実践されます。もちろん期間中の入村は自由！受付で入村料を800円支払うと、村で使える通貨“500たんぽり”がもらえます。どのお店もご飯を炊いたり、お湯を沸かしたりするのも火を起こし、必要最低限の電力は太陽光パネルで発電し、お店で出される食べ物、飲み物には使い捨て食器、コップ、箸は使いません。

お餅つきなどのイベントは大人も子どもも協力します。

短時間でしたが、楽しい村の暮らしを体験させていただきました。



Uさん

Luzcafeにて平井正也ライブなどでお世話になった竹村君がまた面白い事やってるので、平井君への挨拶も兼ねて佐治まで午後の山は雨上がりで靄がかかっていた。中々こっちまでは来ないから新鮮な景色 佐治ダムは渇水気味？ でもないか？看板を頼りに、山王谷キャンプ場にてのたんぽり村まつりへ。着いてすぐ竹村君も私もお互い見つけた。

相変わらず内に秘めた感のあるエネルギッシュさに満ち溢れてた。元気そうでなにより(^)/

マーガレットブローズの平井君はLIVE終わった後に村を散策に出て逢えず(><)

様々な出店があり食事楽しみにしてたが時すでに遅し。。智頭の cafe ポスト さんのお食事売り切れ折角なんでここにきた記念に sunci さんの焼き菓子をお土産にお願いした。会場にはまだ祭りの熱が残っていた



Tさん

さて、気になるイベント目白押しの秋・鳥取ですが、ここにもまた、素敵すぎるロゴを頭に乗つけた、素敵そうなイベントがありますよ。

その名も、『たんぽり村まつり』実にホクホクしてそうなイベントです。

ふかしたてのジャガイモに、バターとマヨネーズを乗つける絵が自動的かつ勝手に頭に浮かんでおりますが、まあ、そう遠くないイメージかもしれません。

実際に鳥取に『たんぽり村』という場所があるわけではなく、開催場所の佐治町で、川を掘って理想の場所を自分で作る『イワナ』のことを『たんぽり』と呼ぶそうで、その『たんぽり』のように、理想の暮らしを实践出来る村を、三日間だけコミュニティ、『たんぽり村』として開こうというイベントです。

昨日は鳥取駅近くに『スターバックス』が出店するってんで、ニュースになっていましたが、スタバができるってだけで、露出の機会が増えることなんて鳥取でしかあり得ないわけで、それはそれでPR的にはいい面も少しはあるかもしれないけど、なんともそこに中身がないのが気になる。

「鳥取にスタバができるぞ〜」

「へー、やっどできるんだ！」

・・・終わり。わざわざ鳥取に来て

「鳥取に来たからには、スタバに行こう！！」なんてならないわけで、なにかスタバが鳥取にしかない特徴的な要素を入れてくれれば良いけど、(まあメニューとか、店のロケーションとかね)

わざわざそんなことをしていただけるほどグローバル企業もヌルくないと思う。

スタバが鳥取にできることが、まあネタ的に盛上がるニュースになっていると思うけど、その盛り上がりは、本当に限定的なモノにしかならないわけで、それならもっとこの、『たんぽり村まつり』のような動きがニュースになったほうが、『ネタとしてじゃない』鳥取のおもしろさっていうのは伝わる気がするんだけどなあ。